

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人河内兼三上告趣意について。

所論は、結局単に事実認定の不当を主張するに帰するから、当法律審において採
ることはできない。

よつて旧刑訴四四六条に従い主文のとおり判決する。

この判決は裁判官全員の一致した意見である。

検察官 茂見義勝関与

昭和二六年二二日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	眞	野	毅
裁判官	澤	田	竹 治 郎
裁判官	齋	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎